

18日 土曜

I サムエル



14:36 サウルは言った。「夜、ペリシテ人を追って下り、明け方までに彼らからかすめ奪い、一人も残しておかないようにしよう。」すると兵は言った。「あなたが良いと思うようにしてください。」しかし祭司は言った。「ここで、われわれは神の前に出ましよう。」

14:37 サウルは神に伺った。「私はペリシテ人を追って下って行くべきでしょうか。彼らをイスラエルの手に渡してくださるのでしょうか。」しかしその日、神は彼にお答えにならなかった。

14:38 サウルは言った。「民のかしらたちはみな、ここに近寄りなさい。今日、どうしてこの罪が起こったのかを確かめてみなさい。」

14:39 まことに、イスラエルを救う【主】は生きておられる。たとえ、それが私の息子ヨナタンであっても、必ず死ななければならぬ。」しかし、民のうちだれも彼に答える者はいなかった。

14:40 サウルはすべてのイスラエル人たちに言った。「おまえたちは、こちら側にいなさい。私と息子ヨナタンは、あちら側にいることにしよう。」民はサウルに言った。「あなたが良いと思うようにしてください。」

14:41 サウルはイスラエルの神、【主】に「みこころをお示ください」と言った。すると、ヨナタンとサウルが取り分けられ、民は外れた。

14:42 サウルは言った。「私か、私の息子ヨナタンかを決めてください。」するとヨナタンが取り分けられた。

14:43 サウルはヨナタンに言った。「何をし

たのか、私に話さない。」ヨナタンは彼に話した。「確かに、手にあった杖の先で、少しばかりの蜜を口にしました。この私が死ななければなりません。」

14:44 サウルは言った。「神が幾重にも罰してくださるよう。ヨナタン、おまえは必ず死ななければならない。」

14:45 民はサウルに言った。「この大勝利をイスラエルにもたらしたヨナタンが死ななければならないのですか。絶対にそんなことはあり得ません。【主】は生きておられます。あの方の髪の毛一本でも地に落ちてはなりません。今日、あの方は神とともにこれをなさったのです。」こうして民がヨナタンを救ったので、彼は死ななかった。

14:46 サウルはペリシテ人を追うのをやめて引き揚げ、ペリシテ人は自分たちのところへ帰って行った。

14:47 さてサウルは、イスラエルの王権を握ってから、周囲のすべての敵と戦った。モアブ、アンモン人、エドム、ツォバの王たち、ペリシテ人と戦い、どこに行っても彼らを敗走させた。

14:48 彼は勇気を奮って、アマレク人を討ち、イスラエル人を略奪者の手から救い出した。

14:49 さて、サウルの息子は、ヨナタン、イシュウィ、マルキ・シュア、二人の娘の名は、姉がメラブ、妹がミカルであった。

14:50 サウルの妻の名はアヒノアムで、アヒマツの娘であった。軍の長の名はアブネルで、ネルの子でサウルのおじであった。

14:51 キシュはサウルの父であり、アブネルの父ネルは、アビエルの子であった。

14:52 サウルの一生の間、ペリシテ人との激しい戦いがあった。サウルは勇気のある者

や、力のある者を見つけると、その人たちをみな、召しかかえることにしていた。

サウルは勝手な命令を下し、主の答えがなかった原因を、命令を破った者の罪と決め付けました。それでヨナタンが殺されそうになりましたが、信仰と人格に優れたヨナタンは民に助けられました。

自己満足な決めで、自分が信仰的であると勘違いしていることはないでしょうか。自分の信仰深さに満足していると、主ご自身に目が向かなくなります。むしろ常に主の御心を求めていきましょう。またヨナタンのように生きて、主に助けられるような者でありましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

